

### 「富裕層がよく保有している金融商品の解説と 喜ばれる資産管理・運用アドバイスのポイント Vol1 ～人気投資信託ランキングから 富裕層が保有している投信を知り、アドバイスへ繋げる～」

こんにちは、株式会社 ZUU の富田和成です。

今回は富裕層が保有している投資信託に焦点をあてたいと思います。

2010年から2012年の投資信託（投信）の人気投信ランキングの変遷を見ることは、同時に各年で金融機関が積極的に顧客へ販売した投資信託を見ることでもあります。

つまり、そのような投資信託は現在も富裕層が保有している可能性が高いものであると考えられます。

その年の金融市場の状態について振り返りながら、人気の背景についても見ていきたいと思います。



#### ○2010年の人気投信ランキング

2010年の投信別資金流入ランキングを見ると、ハイイールド債券とエマージング債券に投資する投信が人気でした。（ハイイールド債券ファンドは、リスクが高い代わりに高利回りなハイイールド債券に複数投資し、分散効果によって高い利回りを狙いつつリスクを低減しようというものです。）

#### ◆2010年度投資信託資金流入ランキング

順位	ファンド名	カテゴリ	投資地域(単位は%)
1	野村グローバル・ハイ・イールド(資源国通貨)	国際債券・ハイイールド債(F)	北米32、ヨーロッパ26、日本13
2	フィデリティ・USリート・ファンドB	国際債券・ハイイールド債(F)	北米98、日本2
3	短期豪ドル債オープン	国際債券・ハイイールド債(F)	オセアニア46、インターナショナル27、ヨーロッパ
4	新興国債券F(ブラジルリアルコース)	国際債券・エマージング・複数国(F)	
5	ブラジル・ボンド・オープン	国際債券・エマージング・単一国(F)	中南米98、日本2
6	アシュモア新興国財産3分法F(リアル)	安定成長	その他の地域34、アジア32、中南米21
7	米国ハイ・イールド債投 ブラジルリアル	国際債券・ハイイールド債(F)	北米83、日本11、ヨーロッパ5
8	ダイワ・グローバルREIT・オープン	国際REIT・グローバル・除く日本(F)	北米49、ヨーロッパ20、オセアニア18
9	フィデリティ・USハイ・イールドF	国際債券・ハイイールド債(F)	北米95、日本5
10	エマージングボンドFブラジルリアル	国際債券・エマージング・複数国(F)	その他地域34、中南米33、ヨーロッパ16

※ランキングはETFを除く追加型株式投信について2010年12月30日時点

※投資地域割合は2012年8月～9月のデータです

2010年春以降、ギリシャ・ショックなどを受けて、リスクに敏感となっていたグローバル投資家は、次第に米国経済の減速傾向に注目するようになり、景気悲観論が強まります。

こうした流れのもとで、市場では、株価が軟調に推移するとともに、長期金利の低下傾向が明確化しました。2010年下期に入ると、米国で金融緩和が強化されるとの観測が強まり、長期金利はさらに低下します。その中で、少しでも高い金利を求めて、ハイイールド債券やエマージング債券、そしてREIT（不動産投信）タイプの投信などが人気化しました。特に、2009年と同様に通貨選択型の人気が加速した年でした。

この一方で、株式をはじめとするリスク性資産の価格は回復に向かいました。その後、年末にかけて、市場予想を上回る経済指標などを受けて、米国景気に対する悲観的な見方が後退したこともあって、異例の水準まで低下していた長期金利は大きく上昇に転じます。

この間、欧州財政問題が再燃するなかで、国際金融資本市場では、改めてこの問題に対する懸念が強まりました。また、活発な資金流入を背景に上昇を続ける新興国株価や商品市況について、その過熱感を警戒する動きもみられるようになります。

## ○2011年の人気投信ランキング

次に2011年の資金流入ランキングを見てみましょう。北米への投資が多い年となります。

なお、この年は円相場が75円32銭の戦後最高値を記録しました。そのため、これまで人気だった高金利通貨のコースから円コース（為替リスクヘッジ型）の人气がシフトし始めました。

### ◆2011年度投資信託資金流入ランキング

順位	ファンド名	カテゴリ	投資地域(単位は%)
1	新光US-REITオープン	国際債券・エマージング・複数国(F)	北米95、日本5
2	短期豪ドル債オープン	国際債券・短期債(F)	オセアニア46、インターナショナル27、ヨーロッパ
3	ダイワ米国リート・ファンド	国際REIT・特定地域(F)	北米97、日本3
4	ラサール・グローバルREIT	国際REIT・グローバル・含む日本(F)	北米61、ヨーロッパ13、オセアニア11
5	ダイワ・US-REIT・オープンB	国際REIT・特定地域(F)	北米94、日本6
6	ドイチェ高配当インフラ関連(ブラジルリアル)	国際株式・グローバル・含む日本(F)	北米56、ヨーロッパ29、日本9
7	ワールド・リート・オープン	国際REIT・グローバル・含む日本(F)	北米62、オセアニア18、ヨーロッパ12
8	ハイブリッド3分法 新興国通貨	安定成長	北米68、その他地域10、日本9
9	フィデリティ・USハイ・イールドF	国際債券・ハイイールド債(F)	北米95、日本5
10	EM・ハイイールドボンドF・ブラジルリアル	国際債券・ハイイールド債(F)	

※ランキングはETFを除く追加型株式投信について2011年12月30日時点

※投資地域割合は2012年9月以降のデータです

2011年に入り、世界経済の回復に陰りが見え始めます。特に後半は、先進国、新興国双方の成長速度が鈍化すると共に、財政、金融の安定性への懸念が増しました。

2011年6月以降、ユーロ圏では、当事国の意見対立によりギリシャのデフォルト懸念が収束せず、市場の懸念はイタリアやスペインにまで拡大します。このような環境下で、欧州のマネーが米国にシフトしました。その結果として、日本人の投資行動も米国へ向かいました。特に金融危機以来、割安に放置されていたREITへの資金流入が目立ちました。

また、米国では、連邦政府の債務上限引上げを巡る政治的対立により、一時的なデフォルトの可能性が生まれました。実際には、妥協の成立により回避したものの、8月5日には、大手格付会社の1つが米国債の格付を史上初めてトリプルAからダブルA+へと引き下げます。

このような米国の財政懸念とユーロ圏債務危機の深刻化を反映し、2011年夏から秋には世界同時株安、国債価格の下落、為替市場の変動など、世界的な金融市場の混乱が生じます。2011年8月以降、国際機関やアナリストによる世界経済の見通しは下方修正が相次ぎました。

## ○2012年の人気投信ランキング

2012年も前年に引き続き、北米への投資が多いです。しかし、前年よりは豪ドル債とエマージング諸国への投資が増えています。1位については、S&P（スタンダード・アンド・プアーズ）が、2011年8月にアメリカ国債を最上位から格下げしたことで、信用力が高い債券を主要投資対象とするという豪ドル債券に人気が集まった結果と見ることも出来ます。また2012年も円高は継続しており、円コースの人気も加速しました。

### ◆2012年度投資信託資金流入ランキング

順位	ファンド名	カテゴリ	投資地域(単位は%)
1	野村豪ドル債オープン・プレミアム	国際債券・オセアニア(F)	
2	ピクテ新興国インカム株式F	国際株式・エマージング・複数国(F)	
3	野村米国ハイ・イールド債投 豪ドル	国際債券・ハイイールド債(F)	北米84、日本7、ヨーロッパ6
4	野村グローバルREITプレミアム(通貨)	国際REIT・グローバル・含む日本(F)	北米62、アジア19、ヨーロッパ12
5	フィデリティ・USリート・ファンドB	国際債券・ハイイールド債(F)	北米98、日本2
6	ダイワ・US-REIT・オープンB	国際REIT・特定地域(F)	北米94、日本6
7	日興グラビティ・アメリカズ・ファンド	国際株式・グローバル・除く日本(F)	
8	ダイワ米国リート・ファンド	国際REIT・特定地域(F)	北米97、日本3
9	エマージングソブリン ヘッジあり	国際債券・エマージング・複数国(H)	中南米37、その他地域37、アジア17
10	高配当インフラ関連株プレミアム 通貨	国際株式・グローバル・含む日本(F)	

※ランキングはETFを除く追加型株式投信について2012年12月28日時点

※投資地域割合は2012年9月以降のデータです

世界経済は、欧州債務危機が長期化する中、中国など新興国経済の減速が続き、アメリカ経済も回復のテンポを緩めていましたが、足元では底打ちの兆しが表れ始めます。中国の実質 GDP 成長率も下げ止まり、その他の新興国もこれまでの金融緩和や財政出動などの効果が表れ、減速に歯止めがかかるようになりました。米国経済は、これまで景気の足を引っ張ってきた住宅市場が底打ちし、欧州経済は景気後退を続けているものの、金融統合、さらには財政統合へと、統合を深化させる方向へ向かい、信頼を高め始めます。この住宅市場の回復や流動性相場の加速の結果として、引き続き、REIT 市場に資金が流れ続けました。アメリカの「財政の崖」など不透明要因が残りつつも、世界経済は来年以降の回復が期待できるというムードに包まれました。

以上、2010 年から 2012 年の人気投信ランキングをお届けしました。

これらのことから、様々なことが見えてきます。例えば、豪州の先行きは陰しくなっており豪ドルタイプの投資信託を保有の富裕層は売却を検討する必要があるかもしれません。また円安に急激に触れていることで、円コース（為替リスクヘッジコース）を保有されている富裕層は今回の円安の果実を全く利益できていない状態になっております。一方で、米国が出口戦略に向かうとすれば金利が上昇し、金利上昇下において REIT（不動産投信）は弱いと言われておりますので資産割合の再検討が必要になるかもしれません。このように、富裕層が保有している人気商品を理解し、それらの商品が現在どのような状態にあり、また今後どのように変わっていく可能性が高いのかを理解することが出来れば富裕層の皆様へのアドバイスに活用することが出来るかと存じます。

皆様のお客様の資産管理にお役に立てれば光栄でございます。

## <著者プロフィール>

富田和成

株式会社ZUU 代表取締役社長兼CEO

[http://zuu.co.jp/company/ceo\\_message](http://zuu.co.jp/company/ceo_message)

大学在学中にソーシャルマーケティングにて起業。2006年に一橋大学を卒業後、野村証券株式会社に入社。支店営業にて同年代のトップセールスや会社史上最年少記録を樹立し、最年少で本社の超富裕層向けプライベートバンク部門に異動。その後シンガポールへの駐在とビジネススクールへの留学やタイへの駐在を経て、本店ウェルスマネジメント部で金融資産10億円以上の企業オーナー等への事業承継や資産運用・管理などのコンサルティングを担当。

2013年3月に野村証券を退職し、2013年4月株式会社ZUUを設立、現在に至る。

◇今後のメルマガをより良い物とするために下記のページより皆様のお声をお聞かせ下さい。

<http://www.nichizei.com/fp-enquete.html>

### メルマガ執筆者募集のお知らせ

税理士FP実務研究会事務局では、FP実務に関する様々なテーマでメルマガの執筆をしていただける方を募集中です。分野・テーマ等は自由です。最近の相談事例や得意分野など、ぜひ寄稿ください。執筆を希望される方は、税理士FP実務研究会事務局【㈱日税ビジネスサービス 総合企画部】までご連絡ください。TEL 03-3340-4488